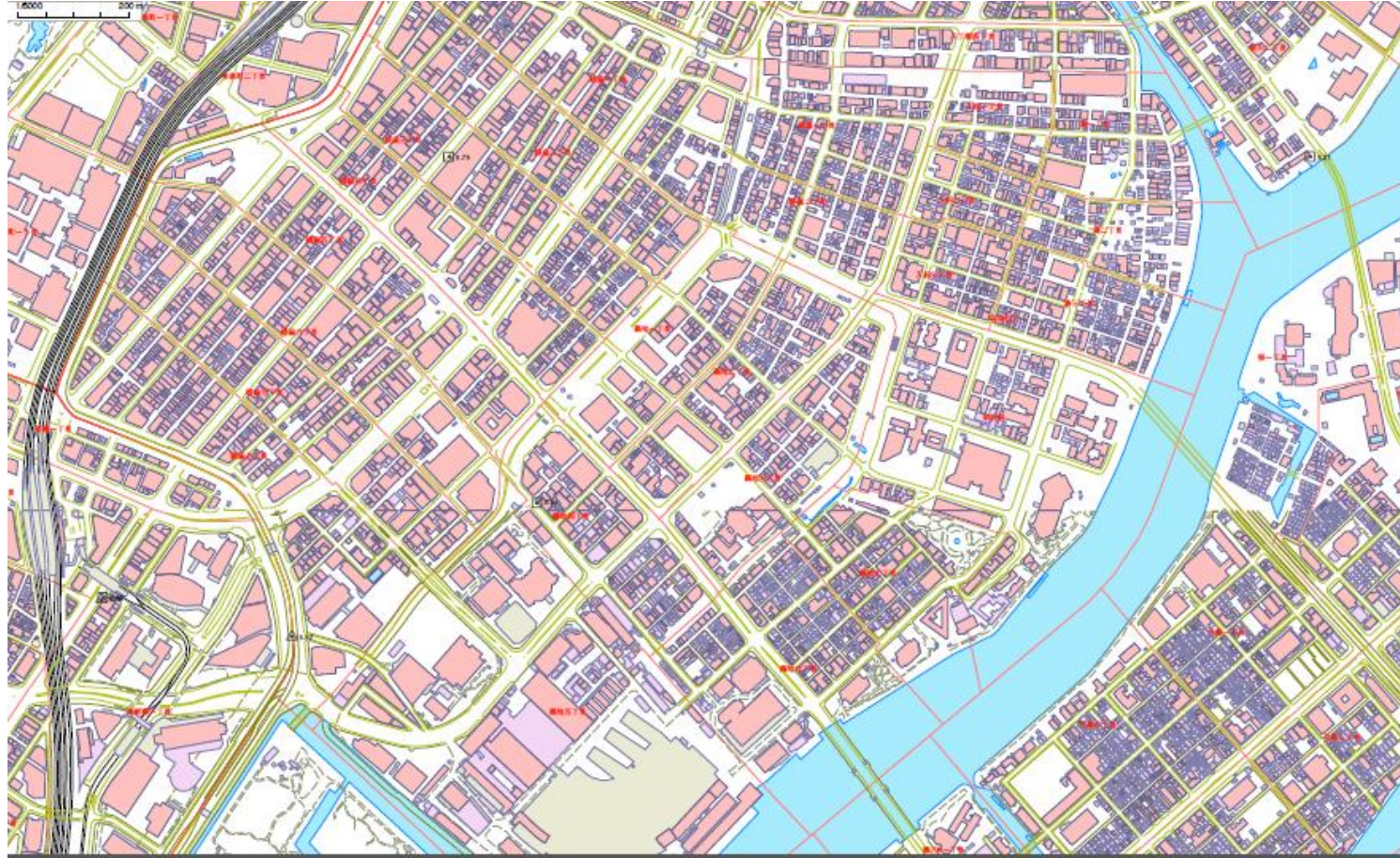


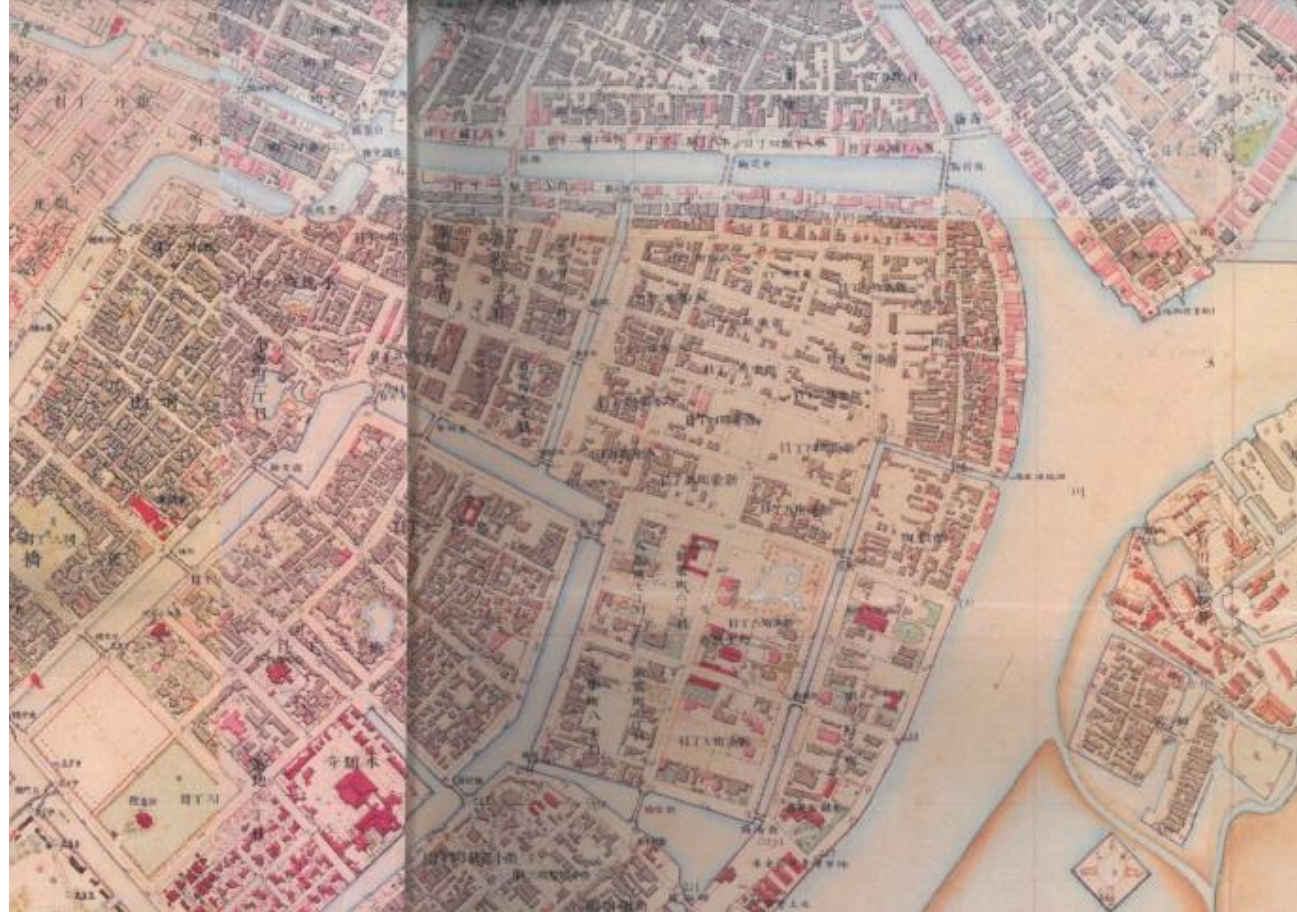
グループG 築地

16N1034 大代将平
16N1133 光井恭大
16N1141 森嵩司

現在の築地



明治時代の築地



現在の地図に明治の地図をおとしたもの

- 青：川
- 赤：寺院
- 緑：屋敷
- ピンク：町屋群



明治時代寺院だった場所



当時本願寺が建っていた場所は今現在も本願寺という大きな寺院が建っており、現在では寺院の規模は減っており市場となっているが、その中にもまだ寺院が点々と残っており当時の面影を感じた。



明治時代に川や橋があった場所



現在広い通りになっているところは当時はほとんど川が流れていた。また当時三角形に水が溜まっているところは今では公園になっている。

当時橋があった場所は大通りの一部となり周りとレベル差がなくとても橋があったとは思えないところもあった。

築地の歴史

- 1657年 明暦の大火を受け、築地の埋め立てが始まる
- 1884年 築地地区の魚市場が「築地魚鳥市場」として許可
- 1923年 関東大震災により日本橋魚河岸が全焼
- 1935年 築地市場開場
- 1960年 高度経済成長期
- 1964年 東京オリンピック前後に、築地川が埋め立てられ高速路一号線に
- 1993年 築地場外市場商店街振興組合設立

考察

明治から現在に至って川が埋め立てられて道や高速道路などになったのかを考えた結果、明治時代に関東大震災や明暦の大火という火事があり、当時川が多かったために人々の避難が遅れて死者がたくさん出たのでその改善策として、またその7年後に東京オリンピックが開催されたのでそのために交通の便をよくするために川を埋め立てて道や高速道路を増やしたのかと考えた。